

くすり百年匠通信 Q&A 特集号

たくみ

成光薬品工業株式会社

〒635-0834 奈良県北葛城郡広陵町大塚739
TEL 0745-55-0044 FAX 0745-55-5265
URL <http://www.asm.ne.jp/~seikou/>



Q 生理痛がひどく2年前から大虎散を服用していてよく効いています。医者に見せたら「作用がきついですね」と言われました。他にスグチンA、ネオスグチンKがあるそうですが大虎散とどう違いますか？私にはどれが合うのでしょうか？(30歳代・女性)

A 大虎散を愛用頂き、ありがとうございます。大虎散はすぐによく効くから手放せないと多くの方からお褒めの言葉を頂くのですが、お医者様がおっしゃった「作用がきつい」とは鎮痛効果が強いということでしょうね。

大虎散とスグチンA、ネオスグチンKの違いは、大虎散は不快な痛みを素早く鎮めるかわりに胃に負担をかける事があるため、注意が必要になります。一方スグチンA、ネオスグチンKは胃にやさしく効果の出かたが緩やかです。

スグチンA、ネオスグチンKの特徴ですが、スグチンAは顆粒と一緒に持続性ビタミンの赤い丸薬が入った、国内でも珍しい二剤型のお薬です。オレンジ風味でほのかに甘く、お薬の苦手な方でも服用しやすくなっております。

ネオスグチンKには漢生薬のケイヒとカンゾウが配合されており、漢方のいい香りがすると、幅広い年齢の方から人気があります。ケイヒには胃粘膜保護作用、カンゾウには抗菌、抗ウイルス、抗潰瘍、肝機能改善作用が期待でき、大変体にやさしくなっております。

どれがよいかはお客様の好みで選びただいて問題ありませんが、急な頭痛や歯痛などには大虎散、肩こりや生理痛などにはスグチンA、傷口の痛みや風邪をひきやすいなど、ウイルスに弱い体質の方などにはネオスグチンKをお勧めしております。お客様は体質的にも大虎散で問題ないと思われそうですが、今後は痛みのひどいときは大虎散、そうでない時にはスグチンAを服用されてはいかがでしょうか？



Q 葛根湯を愛用しています。裏を見たら「連用しないで下さい」と書いてあるが、どれくらいの期間が連用になるのか？(70歳代・男性)

A 葛根湯を愛用頂き、ありがとうございます。裏の表示は、厚生労働省からどのメーカーも同じ内容の記載が義務づけられており、連用の記載も指示によるものです。しかし現在、明確に何日から連用との決まりはありません。葛根湯の場合、連用は使用されている原料から、蓄積や肝臓、腎障害等が考えられるところですが、今まで毎日のように肩こりで服用されている方からもそのような副作用を聞いたことはございません。日々お客様の体調も変化致します。ですから定期的にこの相談窓口を活用して頂き、用法・用量をお守りの上、引き続き服用頂いて大丈夫と思われまます。



Q 成分にサッカリンと書かれているものがあります。サッカリンは禁止されていないのですか？(50歳代・女性)

A たしかにサッカリンは今から約50年ほど前に使用禁止になりました。しかし、安全性が確認され、今は使用が許可されています。使用禁止当時のマスコミ報道が大きかったため、今でも記憶に残り、サッカリンと聞いただけで心配される方もいらっしゃいますが、大丈夫です。安心して下さいね。

【備考】サッカリンは甘味が砂糖の約500倍もあり、大変使いやすい人工甘味料として広く用いられていた。しかし、1960年代にアメリカで行われた動物実験で雄ラットに膀胱癌が見られたのをきっかけに使用が禁止となる。その後、ラットの飼育条件が不適切であったことや、実験に使用したサッカリンが粗悪で、混同していた不純物に発癌性があったことが判明。正しい実験を行った結果、サッカリン自体には問題がないことがわかり、発癌性物質のリストから削除される。それをうけて、アメリカでは禁止以前同様に再び大量に使用されるようになるが、日本ではより安全性を重視し安全な量に制限をつけて使用許可が出る。現在、サッカリンは摂取してもカロリーにならないため、ダイエット甘味料として医薬品や食品など数多くの分野で用いられている。

成光ではお客様相談窓口を開設しております。お薬、健康に関する質問など些細なことでもお受けいたしますので、お気軽にお問い合わせください。

成光薬品の相談窓口

☎0745(55)0044

受付時間 10時～17時(土・日・祝を除く)



相談窓口担当者
おぼら よしひろ
管理薬剤師 小原 喜博